

平成29年度
公立大学法人
和歌山県立医科大学

医学部 医学科
学生募集要項

推薦入学試験
一般入学試験(前期日程)



出願期間	推薦入試	平成28年12月14日(水)～12月20日(火)
	一般入試 (前期日程)	平成29年 1月23日(月)～ 2月 1日(水)
試験日	推薦入試	平成29年 2月 5日(日)(「一般枠」・「県民医療枠」・「地域医療枠」)
	一般入試 (前期日程)	平成29年 2月25日(土)・26日(日)(「一般枠」・「県民医療枠」)

和歌山県立医科大学医学部医学科学生募集要項

目 次

1 平成29年度入試について

I 教育理念・目的	1
II 選抜方法について	3
III 募集枠について	3
IV 「地域医療枠」入学者への和歌山県修学資金の概要について	5
V カリキュラムの概要	6

2 推薦入学試験

I 選抜方式・実施日程	7
II 募集人員・出願資格	7
III 出願手続	10
IV 入学者選抜方法	12
V 合格者の発表	13
VI 入学手続	14
VII 学費等	15
VIII 試験場までの交通機関	15

添付書類等（推薦入試用）

- (1) 入学志願票
- (2) 成績請求票
- (3) 写真票
- (4) 受験票
- (5) 出願書類等受理書
- (6) 入学検定料納付書
- (7) 推薦書
- (8) 自己推薦書
- (9) 誓約書
- (10) 入学検定料振込依頼書
- (11) あて名票
- (12) 封筒
 - ①「入学志願票」用
 - ②「出願書類等受理書」用
 - ③「第一段階選抜判定結果通知書」用

3 一般入学試験（前期日程）

I	選抜方式・実施日程	1 7
II	募集人員・出願資格	1 7
III	出願手続	1 9
IV	入学者選抜方法	2 1
V	合格者の発表	2 3
VI	入学手続	2 4
VII	追加合格	2 4
VIII	学費等	2 5
IX	その他	2 6
X	試験場までの交通機関	2 6

添付書類等（一般入試（前期日程）用）

- (1) 入学志願票
- (2) 成績請求票
- (3) 写真票
- (4) 受験票
- (5) 出願書類等受理書
- (6) 入学検定料納付書
- (7) 自己推薦書
- (8) 誓約書
- (9) 入学検定料振込依頼書
- (10) あて名票
- (11) 封筒
 - ①「入学志願票」用
 - ②「出願書類等受理書」用
 - ③「第一段階選抜判定結果通知書」用

1 平成29年度入試について

I 教育理念・目的

医師及び医学研究者としての幅広い教養、柔軟な思考力と創造性、豊かな人間性、高邁な倫理観を涵養し、基礎および臨床医学における高度で専門的かつ総合的な能力を修得させます。

また、良好な患者・医師関係を築くためのコミュニケーション能力とリーダーシップを備えた協調性の高い人材及び地域医療・健康福祉の向上に寄与するとともに国際的にも活躍できる人材を育成します。

■ アドミッションポリシー（入学者受入方針）

和歌山県立医科大学医学部では大学の理念に基づき次のような人を求めています。

1. 科学的探求心と豊かな人間性・高邁な倫理観を有する人

医学を志す人には、旺盛な科学的探求心とともに豊かな人間性、高い倫理観が必要です。人としての豊かな感性、人間性を有し、ボランティア活動などを通じて社会との深い係わりがあると同時に、高い倫理観を有する人を求めます。

2. 医学を修得するための幅広い能力を有する人

医学の修得には、自然科学のほか人文・社会科学に関する学問の修得が必要です。

そのため、自然および人間・社会についての幅広い知識と向学心、自分自身で問題を解決できる能力を持った人を求めます。

3. コミュニケーション能力及びリーダーシップを備えた協調性の高い人

医師には医学的知識とともに患者および家族、職場の同僚と十分コミュニケーションできる能力（情報の共有と良好な患者・医師関係が築ける能力）が必要です。医療人として自己研鑽ができ、自己の理念を持っているとともに協調性に優れ、リーダーシップを発揮できる人を求めます。

4. 地域医療に関心があり、国際的視野を有する人

本学は県民の医療を支えるとともに、国際的にも活躍できる医師を育成します。

地域医療に関心があると同時に、国際社会でも活躍できるための能力を高め、積極的に地域社会および国際社会に貢献できる人を求めます。

■ カリキュラムポリシー（教育課程の編成方針）

和歌山県立医科大学医学部は以下の教育を通じて真のプロフェッショナルリズムを育成します。

1. 社会人として必要な教養とともに医師として必要な倫理観、弱い立場の人々と真摯に向きあえる共感的態度やコミュニケーション能力、ケアマインドが育成できるよう、早期体験や医療福祉施設での参加型実習や患者および家族と直接触れ合う教育
2. 医学に必要な自然科学、人文・社会科学および外国語に関する知識が獲得できる教育
3. 基礎医学において、生体の構造と機能、病態との関連、疾患の概念が理解でき、問題解決型能力が獲得できるとともに研究マインドが育成できる教育
4. 臨床医学において、基礎医学との連携を図り、臓器別に疾患の概念、診断、治療方法が理解できるとともに、汎用的技能を習得できる教育
5. 臨床実習では、すべての科を網羅的に実習するとともに長期間の臨床参加型実習を学内外で行い、臨床推論能力を含めた実践的な臨床能力が獲得できる教育
6. 地域実習および国際交流を積極的に行い、広い視野を養い、地域社会および国際社会で活躍できる資質を習得できる教育

■ ディプロマポリシー（学位授与方針）

和歌山県立医科大学医学部は次の能力を獲得した者に医学士の学位を授与します。

1. 命を扱う職業である医師として、より高い倫理観、社会人としての良識を備えているもの
2. 総合的、専門的医学知識とともに医学研究や臨床研修を行うに足る技能を有しているもの
3. 単に知識、技能を獲得しているのみではなく、それらを統合的に活用でき、患者の社会的、心理的背景にも配慮することができるもの
4. 国際的視野を有し、地域での医療ができるもの

平成20年度入試より国の「緊急医師確保対策」の一つである医師不足の地域や診療科で勤務する医師の養成推進策として、医師養成総数が少ない県（80名未満の県）に20名の増員が認められるとともに、緊急臨時的な医師養成増として全都道府県に最大5名まで増員が認められ、入学定員は合計85名となりました。（この5名については、公立大学は平成20年度から10年間の措置となりました。）

また、平成21年度入試においては、国の「『経済財政改革の基本方針2008年』を踏まえた平成21年度の医学部定員増」が決定し、全国の医学部で入学定員増が行われ、本学では10名増となり入学定員は95名となりました。

さらに、平成22年度入試からは、緊急臨時的に「地域医療枠」において5名の定員増が行われ、入学定員は100名となりました。（この5名については、平成22年度から10年間の措置となりました。）

II 選抜方法について

推薦入学試験、一般入学試験（前期日程）で募集を行います。
募集枠については、「一般枠」、「県民医療枠」、「地域医療枠」で行います。

	募集人員 100名		
	「一般枠」 (県内募集・全国募集)	「県民医療枠」 (全国募集)	「地域医療枠」 (県内募集)
推薦	6名程度 (県内募集)	5名程度	10名
一般 (前期日程)	64名程度 (推薦入試の「一般枠」の入学 者数により増減する。) (全国募集)	15名程度 (推薦入試の「県民医療枠」及 び「地域医療枠」の入学 者数により増減する。)	
計	70名	20名	10名

(注1) 出願資格等の詳細は、「2 推薦入学試験」及び「3 一般入学試験(前期日程)」を参照。

(注2) 「地域医療枠」の合格者が募集人員に満たない場合、その欠員分は一般入学試験（前期日程）の「県民医療枠」の募集人員に加えます。

(注3) 「地域医療枠」（10名）のうち、5名については平成20年度入試から10年間、残りの5名については平成22年度入試から10年間実施。

III 募集枠について

(1) 「一般枠」とは、

医師及び医学研究者を目指す一般的コースで、本学の教育理念に基づき、6年間の学部教育を行います。卒業後2年間は本学などの臨床研修病院において医師法に則った初期研修を行い、3年目以降は後期研修プログラムにより医師としての研鑽を積み、専門医や学位の取得を目指します。

(2) 「県民医療枠」(※1)とは、

和歌山県内の公的病院において地域医療に携わるとともに、国際的にも医療・医学のリーダーとして活躍できる人材を、大学入学時から15年間一貫した卒前卒後教育によって育成します。本学の教育理念に基づき、入学後から計画性と継続性のあるキャリア形成支援によって、医学者としての科学的探究心と、医療者として高い倫理観および豊かな人間性を兼ね備え、地域社会及び国際社会に貢献できる医師・研究者を育てることを目指します。そのため、学部在籍期間においては、大学院準備課程（M.D-Ph.Dコース）や、基礎配属及び臨床実習期間中の海外留学を推奨します。

学部教育からの連続性を重視し、医師法に則った初期研修は当大学附属病院で実施することとします。卒後3年目以降については、当大学において、新専門医制度による専門医

プログラムと大学院博士課程教育とともに、国際医療支援や海外留学等の機会の積極的活用によって、地域社会に根ざし国際的に活躍できる医師及び医学研究者としてのキャリア形成を包括的に支援します。

なお、卒業後9年間の期間中に、和歌山県で地域医療を実践していただく際の勤務先は、地域で中核的役割を果たす公的病院の中から、県の地域医療政策と選択した専門医プログラムの双方を考慮して、当大学地域医療支援センターが調整機能を果たして決定します。

- ◎ 将来、医師及び医学研究者として、和歌山県での地域医療の実践と先進医療の開発や疾病予防に励みたいという強い意欲のある受験生を望みます。

(3) 「地域医療枠」(※1)とは、

和歌山県から修学資金が貸与される入学枠で、和歌山県内のへき地医療拠点病院及びへき地診療所等（以下「へき地医療拠点病院等」という。）で勤務する医師を育成するために、県の医療政策の一環として平成20年に設置されました。卒業後9年間(※2)のキャリア形成の一部を、へき地医療拠点病院等を中心に行うことを条件としています。

本学の教育理念に基づき、入学後から計画性と継続性のあるキャリア形成支援によって、医学者としての科学的探究心と、医療者として高い倫理観及び豊かな人間性を兼ね備え、プライマリ・ケアを実践し、高い総合的診療能力を有する医師及び医学研究者を育てます。そのため、学部在籍期間においては、大学院準備課程（M. D-Ph. D コース）や、基礎配属及び臨床実習期間中の海外留学を推奨します。

学部教育からの連続性を重視し、医師法に則った初期研修は当大学附属病院で実施することとします。3年目以降は、当大学において後期研修を実施し、新専門医制度プログラムを考慮しながらキャリア形成を支援します。県の地域医療政策に沿って、後期研修期間のうち5年間はへき地医療拠点病院等で勤務することとなります。

なお、卒業後9年間の研修期間中に、大学院博士課程への社会人入学制度等を活用することで、学位取得が可能となります。

- ◎ 将来、医師及び医学研究者として、和歌山県のへき地医療に貢献したいという強い意欲のある受験生を望みます。

※1 卒業後9年間は、和歌山県内でキャリア形成を行うことに同意する旨の誓約書を提出していただきます。また、在学中の各種書類において募集枠を明記する場合があります。

※2 貸与期間が6年間を超える場合はその1.5倍の期間となります（以下、本要項内の「地域医療枠」に関する記載においても同じ）。

IV 「地域医療枠」入学者への和歌山県修学資金の概要について

(1) 貸与対象者

和歌山県立医科大学医学部の入学者のうち、卒業後一定期間、へき地を含む地域医療に従事することを条件に入学する「地域医療枠」の入学者に対して修学資金を貸与します。

(2) 貸与人数

10名

(3) 貸与条件

医師免許取得後、引き続いて修学資金貸与期間の1.5倍に相当する期間(最低9年間)を和歌山県が指定する県内の公的医療機関等に勤務することとし、その内、2分の1以上の期間をへき地医療拠点病院等でへき地を含む地域医療に従事すること。

(4) 貸与金

金額(予定)	1ヶ月	自宅外から通学する者	15万円
		自宅から通学する者	10万円

(5) 貸与期間

6年間(通常)

(6) 返還免除条件

貸与期間の1.5倍相当の期間(最低9年間)、和歌山県が指定する県内の公的医療機関等に勤務すること。このうち2分の1以上の期間はへき地医療拠点病院等において、へき地を含む地域医療に従事すること。但し、条件を満たさなかった場合は、貸与金に一定利息を加えた額を返済すること。

※当該修学資金の内容については、平成28年9月1日時点での予定であり、今後、変更する場合があります。

(問い合わせ先)

〒640-8585 和歌山市小松原通1-1

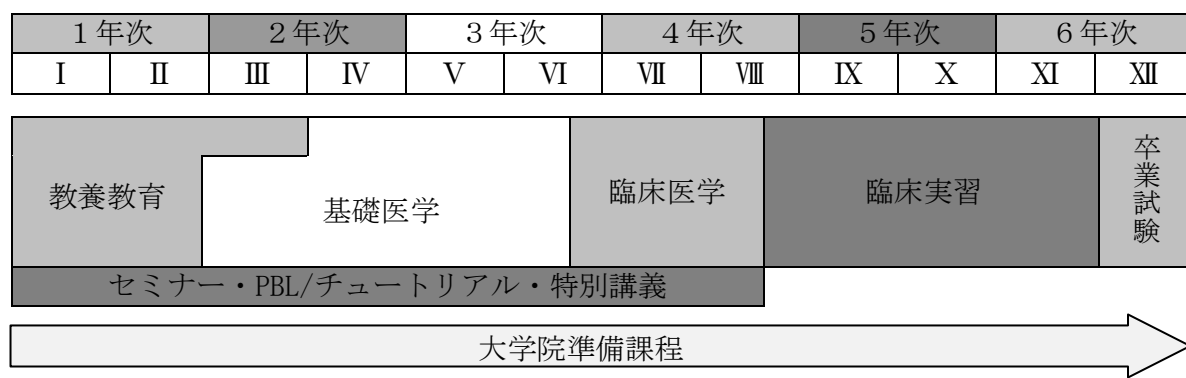
和歌山県庁 福祉保健部健康局 医務課 TEL 073-441-2610

V カリキュラムの概要

本学では現在、1年を2期とし、6年12期制を導入しています。主としてI～II期は教養、III～VI期は基礎医学、VII～XII期は臨床医学教育を行っています。

この6年間の教育の中で、本学が特に重点的に行っているのが地域医療教育です。地域医療マインドの啓発のため、和歌山県内全域にわたる種々の医療、福祉施設において、1年次から6年次までの継続的な地域とのふれ合いをカリキュラムに導入しています。1年次の夏休み（7～8月）には、地域中核病院で医療現場を体験する「早期臨床体験実習（Early Exposure）」を、また、福祉関連の現場を体験する実習を1年次には老人福祉施設で、2年次には保育園・障害者福祉施設で行っています。5・6年次には、地域中核病院等で臨床実習を行っています。また、平成25年度から、医学部在学中に大学院博士課程の一部を履修できる「大学院準備課程」を開始しました。

なお、平成27年度よりカリキュラムの改革を実施しています。



2 推薦入学試験

I 選抜方式・実施日程

推薦による入学者選抜を実施します。試験実施期日は下記のとおりです。

推薦入学試験 「一般枠」、「県民医療枠」、「地域医療枠」 平成29年2月5日(日)

II 募集人員・出願資格

推薦入学試験 21名程度

「一般枠」 6名程度 (県内募集)

「県民医療枠」 5名程度 (全国募集)

「地域医療枠」 10名 (県内募集)

推
薦
入
試

募集枠名	募集人員	出願資格等
1 「一般枠」 (県内募集)	6名程度	<p>次の要件をすべて満たしている者で、高等学校(中等教育学校の後期課程を含む。以下同じ。)長が責任を持って推薦できる者であり、合格した場合入学することが確約できる者</p> <p>なお、高等学校長が推薦できる人数は、1校につき3名以内とします。</p> <p>(1) 高等学校を平成29年3月卒業見込みの者であって、和歌山県内の高等学校に在学している者、又は、出願時、扶養義務者が引き続き3年以上和歌山県内に居住している者</p> <p>(2) 学業のみならず、課外活動等において特に優れた成績あるいは実績を有する者で、医学・医療に貢献したいという強い意欲があり、人格的に特に優れた者</p> <p>(3) 調査書の学習成績概評A(全体の評定平均値4.3以上)の者</p> <p>(4) 平成29年度大学入試センター試験において本学が指定した5教科7科目を受験する者</p> <p>(注1) 高等学校以外の学校に在学する者でも、本学学生課に問い合わせの上、平成28年11月21日(月)から12月2日(金)までに事前申請を行い、本学が上記出願資格と同等の資格を有すると認めた者については、出願することができます。</p> <p>(注2) 上記(3)の調査書が得られない場合は(3)の条件に相当する書類を提出すること。</p> <p>(注3) 「一般枠」、「県民医療枠」、「地域医療枠」とも入学願書に、志望する枠名一つを○で囲んで提出すること。二つ以上を○で囲んで提出した場合は受理しません。</p>

募集枠名	募集人員	出願資格等
2 「県民医療枠」 (全国募集)	5名程度	<p>次の要件をすべて満たしている者で、高等学校（中等教育学校の後期課程を含む。以下同じ。）長が責任を持って推薦できる者であり、合格した場合入学することが確約できる者 なお、高等学校長が推薦できる人数は、1校につき2名以内とします。</p> <p>(1) 高等学校を平成29年3月卒業見込みの者か平成28年3月卒業の者。</p> <p>(2) 学業のみならず、課外活動等において特に優れた成績あるいは実績を有する者で、卒業後、和歌山県内地域中核病院で研修し、将来、医師や研究者として県民医療に貢献したいという強い意欲のある者であり、人格的に特に優れた者</p> <p>(3) 調査書の学習成績概評A（全体の評定平均値4.3以上）の者</p> <p>(4) 平成29年度大学入試センター試験において本学が指定した5教科7科目を受験する者</p> <p>(5) 「県民医療枠」に出願する者は、出願時に、①本人、②親権者あるいは後見人の誓約書を提出すること。</p> <p>(注1) 高等学校以外の学校に在学する者でも、本学学生課に問い合わせの上、平成28年11月21日（月）から12月2日（金）までに事前申請を行い、本学が上記出願資格と同等の資格を有すると認めた者については、出願することができます。</p> <p>(注2) 上記（3）の調査書が得られない場合は（3）の条件に相当する書類を提出すること。</p> <p>(注3) 「県民医療枠」の出願者で誓約書を提出しない者は、出願を受理しません。</p> <p>(注4) 「一般枠」、「県民医療枠」、「地域医療枠」とも入学願書に、志望する枠名一つを○で囲んで提出すること。二つ以上を○で囲んで提出した場合は受理しません。</p>

※ 卒業後のキャリア形成については、3頁「Ⅲ 募集枠について」を参照

募集枠名	募集人員	出願資格等
3 「地域医療枠」 (県内募集)	10名	<p>次の要件をすべて満たしている者で、高等学校（中等教育学校の後期課程を含む。以下同じ。）長が責任を持って推薦できる者であり、合格した場合入学することが確約できる者</p> <p>なお、高等学校長が推薦できる人数は、1校につき3名以内とします。</p> <p>(1) 和歌山県内の高等学校を平成29年3月卒業見込みの者か平成28年3月卒業の者。又は、和歌山県外の高等学校を平成29年3月卒業見込みの者か平成28年3月卒業の者であって、出願時、扶養義務者が引き続き3年以上和歌山県内に居住している者</p> <p>(2) 学業のみならず、課外活動等において特に優れた成績あるいは実績を有する者で、和歌山県が設定する和歌山県修学資金の貸与を受け、卒業後、和歌山県が指定する公的医療機関等に勤務し地域医療に貢献することを確約でき、人格的に特に優れた者</p> <p>(3) 調査書の学習成績概評A（全体の評定平均値 4.3以上）の者</p> <p>(4) 平成29年度大学入試センター試験において本学が指定した5教科7科目を受験する者</p> <p>(5) 「地域医療枠」に出願する者は、出願時に、①本人、②親権者あるいは後見人の誓約書を提出すること。</p> <p>(注1) 高等学校以外の学校に在学又は卒業した者でも、本学学生課に問い合わせの上、平成28年11月21日（月）から12月2日（金）までに事前申請を行い、本学が上記出願資格と同等の資格を有すると認めた者については、出願することができます。</p> <p>(注2) 上記（3）の調査書が得られない場合は（3）の条件に相当する書類を提出すること。</p> <p>(注3) 「地域医療枠」の出願者で誓約書を提出しない者は、出願を受理しません。</p> <p>(注4) 「一般枠」、「県民医療枠」、「地域医療枠」とも入学願書に、志望する枠名一つを○で囲んで提出すること。二つ以上を○で囲んで提出した場合は受理しません。</p> <p>(注5) 「地域医療枠」の合格者が募集人員に満たない場合</p> <p>① その欠員分は一般入学試験（前期日程）の「県民医療枠」の募集人員に加えます。</p> <p>② 「地域医療枠」の入学者に貸与される「和歌山県修学資金」については、平成29年度一般入学試験（前期日程）の合格者のうちから貸与を希望する者を募集し、その中から選考により貸与されることがあります。この場合、「地域医療枠」の入学者として取り扱います。</p>

※ 卒業後のキャリア形成については、3頁「Ⅲ 募集枠について」を参照

Ⅲ 出願手続

【1】 出願手続

- (1) 出願方法
出願書類を「入学志願票」用封筒にて書留速達で郵送するか、直接、持参すること。
- (2) 出願期間
平成28年12月14日(水)～12月20日(火)(必着)
持参の場合は、各日とも午前9時から午後5時まで。
(注)出願期間を過ぎて到着した場合及び出願書類に不備がある場合には受理しません。記載事項の記入もれ、写真等の貼り忘れなどに注意してください。
- (3) 出願書類の提出先
〒641-8509 和歌山市紀三井寺 811-1
和歌山県立医科大学 学生課
電話番号 073-441-0702
- (4) 入学検定料 **17,000 円**
入学検定料 17,000 円を本要項に同封されている**振込依頼書(整理番号 A00001 と記載の振込依頼書)**を使用して振込み(電信扱い)、**入学検定料振込金受付証明書(C票)**を、入学検定料納付書に貼り付けること。
(注1) 金融機関窓口(銀行、信用金庫、信用組合及び農協、漁協等での振込み<電信扱い>)に限ります。**(なお、振込手数料は、志願者負担となります。)**
(注2) 振込依頼書は、太枠で囲まれている記入欄に必要事項を全て黒又は青のボールペンで正確・明瞭に記入し、A票・B票・C票を切り離さずに金融機関へ持参すること。
(注3) 第一段階選抜の不合格者及び大学入試センター試験受験科目の不足等による出願無資格者については、入学検定料 17,000 円のうち、13,000 円を返還します。返還方法等については、該当者に対して通知します。
(注4) 上記(注3)による場合を除いて、受理した入学検定料は返還しません。
- (5) 出願書類
次の書類を本要項添付の封筒(推薦入試用)に一括して同封のうえ郵送(書留速達)するか、直接、持参すること。

出願書類	注 意 事 項
入学志願票	※ 本学所定の用紙に所要事項を記入すること。
写真票	※ 写真については、所定欄に出願日前3か月以内に撮影した同一の写真(無帽、上半身、縦4cm×横3cm。なお、受験時に眼鏡を着用する者は、眼鏡を着用し撮影したもの)を貼ること。
受験票	
出願書類等受理書	
入学検定料納付書	※ 「入学検定料納付書」に入学検定料振込金受付証明書(C票)を貼付すること。
成績請求票	本学所定の用紙に所要事項を記入すること。 「大学入試センター試験成績請求票」の「 推薦 平成29センター試験

	<p>成績請求票・国公立推薦入試用を「成績請求票」の所定欄に貼ること。</p> <p>(注) 大学入試センター試験の受験票の再発行を受けた場合は、当初発行の受験票の成績請求票は無効となるので、再発行を受けた受験票の成績請求票を使用すること。無効となった成績請求票を使用した場合は失格とします。</p>
調査書	文部科学省所定の様式により、在籍(出身)高等学校長が作成し厳封したもの。
推薦書	本学所定の用紙により、在籍(出身)高等学校長が自筆で作成し厳封したもの。
自己推薦書	本学所定の用紙により、受験生が自筆で記述した 800 字以内のもの。
誓約書 (「県民医療枠」及び「地域医療枠」の出願者のみ提出)	本学所定の用紙に必要事項を記入すること。
あて名票	本学所定の用紙に住所、氏名及び郵便番号を記入すること。
「出願書類等受理書」用封筒	本学所定の封筒に、志願者の氏名、通知を受ける住所及び郵便番号を記入し、書留速達郵送料として 792 円分の切手を貼り付けること。
「第一段階選抜判定結果通知書」用封筒	本学所定の封筒に、志願者の氏名、通知を受ける住所及び郵便番号を記入し、書留速達郵送料として 802 円分の切手を貼り付けること。
住民票 (「一般枠」及び「地域医療枠」に出願する和歌山県外の高等学校生のみ提出)	県内募集枠(「一般枠」及び「地域医療枠」)に出願する和歌山県外の高等学校を卒業見込みの者及び卒業した者は、本人及び扶養義務者の住民票を提出すること。ただし、和歌山県内での居住期間及び続柄が明示されているものに限りません。

【2】 出願についての注意事項

- (1) 出願書類等は推薦入試用と一般入試(前期日程)用の別になっているので、間違わないように注意すること。
- (2) **本学が課している大学入試センター試験の教科・科目を選択しているかどうかを確認した上で出願すること。**
- (3) 国公立大学〔ただし、独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部 {公立大学協会ホームページ (<http://www.kodaikyo.org/nyushi>) 参照} を除く。以下同じ。〕の推薦入試(大学入試センター試験を課す場合、課さない場合を含めて)への出願は、一つの大学・学部に限られており、本学の推薦入試に出願した者は、他の国公立大学の推薦入試には出願できません。
- (4) 推薦入試の合格者は、入学辞退の許可を得た者を除き、他の国公立大学を受験してもその大学の入学許可は得られません。
- (5) 出願受理後、本学より「出願書類等受理書」を送付し、これをもって入学検定料の受領書に代えます。

- (6) 出願受理後、いかなる理由があっても出願書類等は返還しません。
- (7) 大学入試センター試験受験票は、第二段階選抜等及び入学手続の際に必要なため大切に保管し、紛失しないようにすること。
- (8) 出願書類等に虚偽の記載があった場合は、入学後であっても入学許可を取り消すことがあります。
- (9) 身体に障害等（学校教育法施行令第22条の3に定める身体障害の程度）があり、受験上及び修学上の配慮を必要とする者は、出願前(平成28年12月2日(金)まで)に本学に申し出ること。

【3】 個人情報の取扱い

- (1) 国公立大学の一般選抜における合格決定業務を円滑に行うため、氏名及び大学入試センターの受験番号に限って、推薦入試の合格及び入学手続き等に関する個人情報、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送付します。
- (2) 入学志願者から提出された出願書類等に記載されている個人情報及び入学者選抜に用いた試験成績等の個人情報については、入学者選抜業務（出願処理、選抜実施、合格発表、入学手続き等）及び今後の入学者選抜方法の研究等のために利用します。
また、入学者のみ入学後の教務関係（学籍、修学指導等）、学生支援関係（健康管理、授業料免除、奨学金申請関係等）、授業料徴収に関する業務を行うために利用します。

IV 入学者選抜方法

【1】 入学者選抜方法

(1) 第一段階選抜

大学入試センター試験の成績により、一定以上の優れた学力水準を満たした者を選抜します。受験生に課する大学入試センター試験の教科・科目は次のとおりです。

- 国語……………『国語』
- 地理歴史、公民……………地理歴史（「世界史B」、「日本史B」、「地理B」）と公民（『倫理、政治・経済』）から1科目選択
- 数学……………『数学Ⅰ・数学A』と『数学Ⅱ・数学B』
- 理科……………「物理」、「化学」、「生物」から2科目選択
- 外国語……………『英語』（リスニングテストを含む。）

(注) リスニングテストを受験しなかった場合は、本学への出願資格はありません。ただし、大学入試センターの受験上の配慮によりリスニングテストが免除された場合は、課す科目の不足とはしません。

配 点

国 語	地理歴史、 公民	数 学	理 科	外国語	合 計
200	100	200	200	200	900

(注1) 地理歴史、公民で2科目を受験している場合は第1解答科目の成績を採用します。

(注2) 外国語の配点は、筆記試験(200点満点)及びリスニングテスト(50点満点)の合計得点(250点満点)を圧縮し、200点満点とします。なお、大学入試センターの受験上の配慮によりリスニングテストが免除された場合は、筆記試験の得点をそのまま利用します。

(2) 第二段階選抜

第一段階選抜合格者の中から、高等学校長の推薦書、調査書、受験生の記述した自己推薦書及び面接により、総合的に評価し合格者を決定します。なお、面接については、当大学アドミッションポリシーに従って医療人および医学研究者としての適性を評価するため個人面接と集団面接を行います。

○「一般枠」、「県民医療枠」、「地域医療枠」

面接試験日時 **平成29年2月5日(日) 午前9時**

試験場 和歌山県立医科大学 紀三井寺キャンパス内
高度医療人育成センター (和歌山市紀三井寺 811-1)

【2】 受験についての注意事項

- (1) 試験当日は試験場入口に掲示してある注意・連絡事項を確認すること。
- (2) 試験場へ入場する際は、本学受験票及び大学入試センター試験受験票を係員に提示すること。
- (3) 携帯電話等は入室前に電源を切り、かばんに入れる等、身につけておかないこと。
- (4) 面接試験前日に試験場内に入ることを禁止します。また、面接試験実施日には父母等の付き添い者は試験場に入ることはできません。
- (5) 上履きは必要ありません。

V 合格者の発表

【1】 第一段階選抜合格者発表

- (1) 発表日時及び場所

日 時 **平成29年2月2日(木) 午後1時**

(事情により遅れることがあります。)

場 所 和歌山県立医科大学紀三井寺キャンパス基礎教育棟前

(2) 発表の方法

合格者の受験番号を掲示するとともに、受験生及び在籍(出身)高等学校長に、合否にかかわらず書留速達で結果を通知します。なお、合格者については、通知書とともに「受験票」及び「受験者心得」を送付します。

また、本学ホームページ上において当日午後2時(予定)から一週間、合格者の受験番号を掲載するので、確認すること。

なお、第一段階選抜の結果に関する電話等での問い合わせには応じません。

【2】 推薦入学試験合格者発表

(1) 発表日時及び場所

日 時 **平成29年2月7日(火) 午後3時**

場 所 和歌山県立医科大学紀三井寺キャンパス基礎教育棟前

(2) 発表の方法

合格者の受験番号を掲示するとともに、受験生及び在籍(出身)高等学校長には、合否にかかわらず書留速達で結果を通知します。

また、本学ホームページ上において当日午後4時(予定)から一週間、合格者の受験番号を掲載します。

なお、入学選抜試験の合否に関する電話等での問い合わせには応じません。

VI 入学手続

【1】 入学手続の受付

(1) 手続期間

平成29年2月9日(木)、2月10日(金)

各日とも午前9時から午後5時まで

(2) 手続場所

和歌山県立医科大学紀三井寺キャンパス内 学生課(図書館棟3階)

(3) 手続の方法等

① 大学入試センター試験受験票、本学受験票、入学金払込金受取書など手続に必要な書類を持参のうえ上記期間内に手続きを完了してください。なお、必要な書類は、合格通知書の送付時に案内します。

② 入学手続は、本人又は代理の者が来学して行うこと。

(4) 入学辞退

合格者の入学辞退は原則として認めません。ただし、入学できない特別の事情があり、推薦を行った高等学校長から平成29年2月10日(金)午後5時まで「推薦入学辞退願」(様式は自由)を本学へ提出した場合、入学辞退を認めることがあります。

【2】 入学手続についての注意事項

(1) 本学に入学手続を完了した者は、他の国公立大学に出願していても受験することはできません。

また、他の国公立大学への入学手続を完了した者は、本学に入学手続をすることはできません。

- (2) 入学手続時の入学金は、入学しない場合でも返還しません。
- (3) 合格通知書に同封する誓約書（「県民医療枠」及び「地域医療枠」の合格者のみ）を提出しない者は、入学を許可しない場合があります。

Ⅶ 学費等

【1】 入学金及び授業料

種 別	入 学 金	授 業 料
金 額	県内生 282,000 円 県外生 752,000 円	年額 535,800 円
納入時期	入学手続時	4月、10月に分納

(注1) 県内生とは、「入学日現在における入学を許可された者の扶養義務者が、入学日以前3年間引き続き和歌山県内に居住している者」をいいます。

(注2) 県外生とは、上記(注1)の県内生に該当しない者をいいます。

(注3) 上記の金額は改定されることがあります。授業料の改定が行われた場合は、改定時から新授業料が適用されます。

(注4) 入学金及び授業料については、減額又は免除の制度があります。

【2】 その他の経費

保険料

学生生活（大学管理下）を安心して過ごせるよう、学生生活全般における災害傷害保険及び医学実習等における賠償責任保険に入学時全員加入していただきます。これらの保険の経費は6年間で1万円程度です。

(注1) 「傷害保険」は、正課、学校行事、学内での課外活動中及び通学中等に傷害を受けた場合に対象となります。

(注2) 「賠償責任保険」は、正課、学校行事及びその往復中で他人又は臨床実習時の患者等にケガをさせたり、他人の財物を損壊させたことにより被る法律上の損害賠償について補償されます。

Ⅷ 試験場（紀三井寺キャンパス）までの交通機関

26ページを参照してください。

3 一般入学試験（前期日程）

I 選抜方式・実施日程

「分離・分割方式」の前期日程により、入学者選抜を実施します。試験実施期日は下記のとおりです。

一般入学試験 平成29年2月25日(土)及び26日(日)

II 募集人員・出願資格

一般入学試験 79名程度（「一般枠」64名程度、「県民医療枠」15名程度）
「一般枠」64名は、「一般枠」の推薦入学者の数によって増減します。「県民医療枠」15名は、「県民医療枠」及び「地域医療枠」の推薦入学者の数によって増減します。

募集枠名	募集人員	出 願 資 格 等
1 「一般枠」 (全国募集)	64名程度	<p>次の各号のいずれかに該当し、かつ平成29年度大学入試センター試験において、本学が指定した5教科7科目を受験した者</p> <p>(1) 高等学校（中等教育学校の後期課程を含む。以下同じ。）を卒業した者及び平成29年3月卒業見込みの者</p> <p>(2) 通常の課程による12年間の学校教育を修了した者及び平成29年3月修了見込みの者</p> <p>(3) 学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び平成29年3月31日までにこれに該当する見込みの者</p> <p>(注1) 上記出願資格(3)に該当する者で同条第7号の規定により出願しようとする者は事前に「個別の入学資格審査」を受ける必要があるため、本学学生課に問い合わせのうえ平成29年1月11日（水）から1月13日（金）の間に資格認定の申請を行うこと。ただし、平成28年9月に本学の資格認定書を得ている者は、その写しを出願時に添付することで足りません。</p> <p>(注2) 「一般枠」、「県民医療枠」とも入学願書に志望する枠名一つを○で囲んで提出すること。二つを○で囲んで提出した場合は受理しません。</p> <p>(注3) 「県民医療枠」を志望枠として出願した者は、「県民医療枠」で合格者とならなかった場合、「一般枠」として選抜の対象とします。</p> <p>(注4) 推薦入学試験の「地域医療枠」の合格者が募集人員に満たない場合、「地域医療枠」の入学者に貸与される「和歌山県修学資金」については、平成29年度一般入学試験（前期日程）の合格者のうちから貸与を希望する者を募集し、その中から選考により貸与されることがあります。この場合、「地域医療枠」の入学者として取り扱います。</p>

一
般
入
試

募集枠名	募集人員	出 願 資 格 等
2 「県民医療枠」 (全国募集)	15名程度	<p>次の(1)号から(3)号のいずれかと、(4)号及び(5)号に該当し、かつ平成29年度大学入試センター試験において、本学が指定した5教科7科目を受験した者</p> <p>(1) 高等学校(中等教育学校の後期課程を含む。以下同じ。)を卒業した者及び平成29年3月卒業見込みの者</p> <p>(2) 通常の課程による12年間の学校教育を修了した者及び平成29年3月修了見込みの者</p> <p>(3) 学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び平成29年3月31日までにこれに該当する見込みの者</p> <p>(4) 「県民医療枠」に出願する者は、卒業後、和歌山県内地域中核病院で研修し、将来、医師や研究者として県民医療に貢献したいという強い意欲のある者であること。</p> <p>(5) 「県民医療枠」に出願する者は、出願時に、①本人、②親権者あるいは後見人の誓約書を提出すること。</p> <p>(注1) 上記出願資格(3)に該当する者で同条第7号の規定により出願しようとする者は事前に「個別の入学資格審査」を受ける必要があるため、本学学生課に問い合わせのうえ平成29年1月11日(水)から1月13日(金)までの間に資格認定の申請を行うこと。ただし、平成28年9月に本学の資格認定書を得ている者は、その写しを出願時に添付することで足りる。</p> <p>(注2) 「一般枠」、「県民医療枠」とも入学願書に志望する枠名一つを○で囲んで提出すること。二つを○で囲んで提出した場合は受理しません。</p> <p>(注3) 「県民医療枠」を志望枠として出願した者は、「県民医療枠」で合格者とならなかった場合、「一般枠」として選抜の対象とします。</p> <p>(注4) 「県民医療枠」の出願者で、誓約書を提出しない者は、出願を受理しません。</p> <p>(注5) 推薦入学試験の「地域医療枠」の合格者が募集人員に満たない場合</p> <p>① その欠員分は一般入学試験(前期日程)の「県民医療枠」の募集人員に加えます。</p> <p>② 「地域医療枠」の入学者に貸与される「和歌山県修学資金」については、平成29年度一般入学試験(前期日程)の合格者のうちから貸与を希望する者を募集し、その中から選考により貸与されることがあります。この場合、「地域医療枠」の入学者として取り扱います。</p>

※ 卒業後のキャリア形成については、3頁「Ⅲ 募集枠について」を参照

Ⅲ 出願手続

【1】 出願手続

- (1) 出願方法
出願書類を「入学志願票」用封筒にて書留速達で郵送すること。
- (2) 出願期間
平成29年1月23日(月)～2月1日(水) (必着)
郵送(書留速達)に限ります。
(注)出願期間を過ぎて到着した場合及び出願書類に不備がある場合には受理しません。記載事項の記入もれ、写真等の貼り忘れなどに注意してください。
- (3) 出願書類の郵送先
〒641-8509 和歌山市紀三井寺 811-1
和歌山県立医科大学 学生課
電話番号 073-441-0702
- (4) 入学検定料 **17,000 円**
入学検定料 17,000 円を本要項に同封されている**振込依頼書(整理番号 A00002 と記載の振込依頼書)**を使用して振込み(電信扱い)、**入学検定料振込金受付証明書(C票)**を、入学検定料納付書に貼り付けること。
(注1) 金融機関窓口(銀行、信用金庫、信用組合及び農協、漁協等での振込み<電信扱い>)に限ります。**(なお、振込手数料は、志願者負担となります。)**
(注2) 振込依頼書は、太枠で囲まれている記入欄に必要な事項を全て黒又は青ボールペンで正確・明瞭に記入し、A票・B票・C票を切り離さずに金融機関へ持参すること。
(注3) 第一段階選抜の不合格者及び大学入試センター試験受験科目の不足等による出願無資格者については、入学検定料 17,000 円のうち 13,000 円を返還します。返還方法等については、該当者に対して通知します。
(注4) 上記(注3)による場合を除いて、受理した入学検定料は返還しません。
- (5) 出願書類
次の書類を本要項添付の封筒(一般入試(前期日程)用)に一括して同封のうえ郵送(書留速達)すること。

出願書類	注 意 事 項
入学志願票	※ 本学所定の用紙に所要事項を記入すること。 ※ 写真については、所定欄に出願日前3か月以内に撮影した同一の写真(無帽、上半身、縦4cm×横3cm。なお、受験時に眼鏡を着用する者は、眼鏡を着用し撮影したもの)を貼ること。 ※ 「入学検定料納付書」に入学検定料振込金受付証明書(C票)を貼付すること。 ※ 県民医療枠を志願する時は「入学志願票」下段の署名欄に必ず記入すること。
写真票	
受験票	
出願書類等受理書	
入学検定料納付書	

成績請求票	<p>本学所定の用紙に所要事項を記入すること。</p> <p>「大学入試センター試験成績請求票」の「前平成29センター試験成績請求票・国公立前期日程用」を「成績請求票」の所定欄に貼ること。</p> <p>(注) 大学入試センター試験の受験票の再発行を受けた場合は、当初発行の受験票の成績請求票は無効となるので、再発行を受けた受験票の成績請求票を使用すること。無効となった成績請求票を使用した場合は失格とします。</p>
調査書	<p>文部科学省所定の様式により、在籍(出身)高等学校長が作成し厳封したもの。</p> <p>ただし、Ⅱの募集人員・出願資格 1 「一般枠」(2)、(3)又は2 「県民医療枠」(2)、(3)に該当する者は、当該試験等の成績証明書をもって調査書に代えます。</p> <p>また、卒業後5年以上経過した等の理由で、「調査書」が得られない場合は、卒業証明書を提出すること。</p>
自己推薦書	<p>本学所定の用紙により、受験生が自筆で記述した800字以内のもの。</p>
誓約書（「県民医療枠」の出願者のみ提出）	<p>本学所定の用紙に必要事項を記入すること。</p>
あて名票	<p>本学所定の用紙に住所、氏名及び郵便番号を記入すること。</p>
「出願書類等受理書」用封筒	<p>本学所定の封筒に、志願者の氏名、通知を受ける住所及び郵便番号を記入し、書留速達郵送料として792円分の切手を貼り付けること。</p>
「第一段階選抜判定結果通知書」用封筒	<p>本学所定の封筒に、志願者の氏名、通知を受ける住所及び郵便番号を記入し、書留速達郵送料として802円分の切手を貼り付けること。</p>

【2】 出願についての注意事項

- (1) 出願書類等は推薦入試用と一般入試（前期日程）用の別になっているので、間違わないように注意すること。
- (2) **本学が課している大学入試センター試験の教科・科目を受験しているかどうかを確認した上で出願すること。**
- (3) 他の国公立大学〔ただし、独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部〔公立大学協会ホームページ (<http://www.kodaikyo.org/nyushi>) 参照。〕を除く。以下同じ。〕の推薦入試に合格した者（当該大学において入学の辞退を許可された場合を除く。）は受験者として取り扱いません。
- (4) 本学の一般入学試験（前期日程）に出願した者は他の国公立大学の一般入学試験（前期日程）を併願することはできません。
- (5) 出願受理後、本学より「出願書類等受理書」を送付し、これをもって入学検定料の受領書に代えます。
- (6) 出願受理後、いかなる理由があっても出願書類等は返還しません。
- (7) 大学入試センター試験受験票は本学の個別学力検査等及び入学手続の際に必要となるので、大切に保管し、紛失しないようにすること。
- (8) 出願書類等に虚偽の記載があった場合は、入学後であっても入学許可を取り消すことがあります。

- (9) 身体に障害等（学校教育法施行令第22条の3に定める身体障害の程度）があり受験上及び修学上の配慮を必要とする者は、出願前（平成28年12月16日（金）まで）に本学に申し出ること。

【3】 個人情報の取扱い

- (1) 国公立大学の分離分割方式による合格及び追加合格決定業務を円滑に行うため、氏名及び大学入試センターの受験番号に限って、合格及び入学手続き等に関する個人情報を、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送付します。
- (2) 入学志願者から提出された出願書類等に記載されている個人情報及び入学者選抜に用いた試験成績等の個人情報については、入学者選抜業務（出願処理、選抜実施、合格発表、入学手続き等）及び今後の入学者選抜方法の研究等のために利用します。また、入学者のみ入学後の教務関係（学籍、修学指導等）、学生支援関係（健康管理、授業料免除、奨学金申請関係等）、授業料徴収に関する業務を行うために利用します。

IV 入学者選抜方法

【1】 入学者選抜方法

(1) 第一段階選抜

- ① 志願者数が募集人員（79名）の約3.3倍を超えた場合は、大学入試センター試験の成績により、第一段階選抜を行います。
- ② 大学入試センター試験の受験を要する教科・科目
- 国語……………『国語』
 - 地理歴史、公民……地理歴史（「世界史B」、「日本史B」、「地理B」）と公民（『倫理、政治・経済』）から1科目
 - 数学……………『数学Ⅰ・数学A』の1科目と『数学Ⅱ・数学B』、『簿記・会計』、『情報関係基礎』から1科目の計2科目。ただし、『簿記・会計』、『情報関係基礎』を選択できる者は、高等学校（中等教育学校の後期課程を含む。）でこれらの課程を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の修了（見込み）者に限ります。
 - 理科……………「物理」、「化学」、「生物」から2科目選択
 - 外国語……………『英語』（リスニングテストを含む。)

(注) リスニングテストを受験しなかった場合は、本学への出願資格はありません。ただし、大学入試センターの受験上の配慮によりリスニングテストが免除された場合は、課す科目の不足とはしません。

③ 配点

国語	地理歴史、 公民	数 学	理 科	外国語	合 計
200	100	200	200	200	900

(注1) 地理歴史、公民で2科目を受験している場合は第1解答科目の成績を採用します。

(注2) 外国語の配点は、筆記試験（200点満点）及びリスニングテスト（50点満点）の合計得点（250点満点）を圧縮し、200点満点とします。なお、大学入試セン

ターの受験上の配慮によりリスニングテストが免除された場合は、筆記試験の得点をそのまま利用します。

- ④ 志願者数が募集人員（79名）の約3.3倍を超えなかった場合は、志願者全員を第一段階選抜の合格者とみなします。

(2) 個別学力検査等

第一段階選抜の合格者に対して、個別学力検査、小論文を課し、面接を行います。

① 試験教科等、日時、試験場

期日	教科等	科目等	時間	試験場
2月 25日 (土)	英語	「コミュニケーション英語Ⅰ」 「コミュニケーション英語Ⅱ」 「コミュニケーション英語Ⅲ」 「英語表現Ⅰ」、「英語表現Ⅱ」	9:00～ 10:40 (100分)	和歌山県立医科大学 紀三井寺 キャンパス内 ・基礎教育棟 ・高度医療人 育成センター (和歌山市紀三 井寺 811-1)
	数学 (注1)	「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」 「数学Ⅲ」、「数学A」 「数学B」	11:15～ 12:55 (100分)	
	理科 (注2)	「物理基礎・物理」 「化学基礎・化学」 「生物基礎・生物」 (2科目選択)	13:55～ 15:55 (120分)	
	小論文		16:40～ 18:20 (100分)	
2月 26日 (日)	面接(注3) (集合時刻は2月25日(土)に指示しま す。)		9:00～	

(注1) 「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅲ」、「数学A」は全範囲から出題します。「数学B」は『数列』、『ベクトル』から出題します。

(注2) 「物理基礎・物理」は「物理基礎」と「物理」の全範囲から出題します。「化学基礎・化学」は「化学基礎」と「化学」の全範囲から出題します。「生物基礎・生物」は「生物基礎」と「生物」の全範囲から出題します。

(注3) 面接については、当大学アドミッションポリシーに従って医療人および医学研究者としての適性を評価するため個人面接を行います。

② 配点

大学入試センター試験					個別学力検査等				総計
国語	地理歴史、公民	数学	理科	外国語	数学	理科	英語	小論文	
100	100	100	150	150	250	250	200	50	1350

(注) 地理歴史、公民で2科目を受験している場合は第1解答科目の成績を採用します。

(3) 合格者の決定

大学入試センター試験の成績、個別学力検査等の成績、面接の結果、調査書の内容及び自己推薦書を総合的に評価して合格者を決定します。従って大学入試センター試験及び個別学力検査等の総計が合格者最低得点を上回っていても不合格となる場合があります。

【2】 受験についての注意事項

- (1) 試験当日は試験場入口に掲示してある注意・連絡事項を確認すること。
- (2) 試験場へ入場する際は、本学受験票及び大学入試センター試験受験票を係員に提示すること。
- (3) 試験室への計算器具、定規、コンパス、分度器、計算機能を備えた時計、下敷等の持込みは一切認めません。
- (4) 携帯電話等は入室前に電源を切り、かばんに入れる等、身につけておかないこと。
- (5) 試験中不正行為をした者あるいは試験監督員等の指示に従わない者には退室を命じ、試験はすべて無効とします。
- (6) 学力検査実施日前日に試験場内に入ることを禁止します。また、学力検査実施日には父母等の付き添い者は試験場に入ることはできません。
- (7) 上履きは必要ありません。

V 合格者の発表

【1】 第一段階選抜合格者発表

- (1) 発表日時及び場所

日 時 **平成29年2月7日(火) 午後3時**

(事情により遅れることがあります。)

場 所 和歌山県立医科大学紀三井寺キャンパス基礎教育棟前

- (2) 発表の方法

二段階選抜実施の有無及び合格者の受験番号を掲示するとともに、受験生に「第一段階選抜判定結果通知書」を書留速達で通知します。なお、合格者については、通知書とともに「受験票」及び「受験者心得」を送付します。

また、本学ホームページ上において当日午後4時(予定)から一週間、合格者の受験番号を掲載します。

【2】 一般入学試験合格者発表

- (1) 発表日時及び場所
日 時 **平成29年3月7日(火) 午後3時**
場 所 和歌山県立医科大学紀三井寺キャンパス基礎教育棟前
- (2) 発表の方法
合格者の受験番号を掲示するとともに、合格者には書留速達にて通知します。
また、本学ホームページ上において当日午後4時(予定)から一週間、合格者の受験番号を掲載します。
なお、入学選抜試験の可否に関する電話等での問い合わせには応じません。

VI 入学手続

【1】 入学手続の受付

- (1) 手続期間
平成29年3月13日(月)、14日(火)
各日とも午前9時から午後5時まで
- (2) 手続場所
和歌山県立医科大学 紀三井寺キャンパス内 学生課 (図書館棟3階)
- (3) 手続の方法等
 - ① 大学入試センター試験受験票、本学受験票、入学金払込金受取書など手続に必要な書類を持参のうえ上記期間内に手続きを完了してください。なお、必要な書類は、合格通知書の送付時に案内します。
 - ② 入学手続は、本人又は代理の者が来学して行うこと。
- (4) 所定の期日、時間までに入学手続を完了しなかった者は、「入学辞退者」とみなします。

【2】 入学手続についての注意事項

- (1) 本学に入学手続を完了した者は、公立大学中期日程試験を受験していてもその合格者とはなりません。また、後期日程試験に出願済みの者がこれを受験してもその合格者とはなりません。
- (2) 他の国公立大学への入学手続を完了した者は本学に入学手続をすることはできません。追加合格者についても同様です。
- (3) 入学手続時の入学金は、入学しない場合でも返還しません。
- (4) 合格通知書に同封する誓約書(「県民医療枠」の合格者のみ)を提出しない者は、入学を許可しない場合があります。

VII 追加合格

入学手続者が募集人員に満たない場合に行うことがあります。追加合格の通知は平成29年3月28日(火)から平成29年3月31日(金)までの各日午前9時から午後7時までの間に、入学志願票に記載された連絡先あてに電話にて行います。本人が不在等のため連絡・確認ができなかった場合は入学の意思がないものとして取り扱う場合があるので、この期間に外出する場合は、家族など在宅者に連絡先を明らかにしておいてください。入学手続方法等詳細については追加合格通知の際に連絡します。

Ⅷ 学費等

【1】 入学金及び授業料

種 別	入 学 金	授 業 料
金 額	県内生 282,000 円 県外生 752,000 円	年額 535,800 円
納入時期	入学手続時	4月、10月に分納

(注1) 県内生とは「入学日現在における入学を許可された者の扶養義務者が、入学日以前3年間引き続き和歌山県内に居住している者」をいいます。

(注2) 県外生とは上記(注1)の県内生に該当しない者をいいます。

(注3) 上記の金額は改定されることがあります。授業料の改定が行われた場合は、改定時から新授業料が適用されます。

(注4) 入学金及び授業料については、減額又は免除の制度があります。

【2】 その他の経費

保険料

学生生活(大学管理下)を安心して過ごせるよう、学生生活全般における災害傷害保険及び医学実習等における賠償責任保険に入学時全員加入していただきます。これらの保険の経費は6年間で1万円程度です。

(注1) 「傷害保険」は、正課、学校行事、学内での課外活動中及び通学中等に傷害を受けた場合に対象となります。

(注2) 「賠償責任保険」は、正課、学校行事及びその往復中で他人又は臨床実習時の患者等にケガをさせたり、他人の財物を損壊させたことにより被る法律上の損害賠償について補償されます。

Ⅸ その他

【1】 一般(前期日程)入学試験出願状況について

本学の入学試験出願状況について、本学ホームページに掲載します。

- (1) ホームページアドレス <http://www.wakayama-med.ac.jp/>
- (2) 掲載時期(予定) 平成29年1月24日(火)から

【2】 個人別入試成績の開示について

個別学力検査等の不合格者については、受験者本人の申出により入学試験成績の閲覧ができます。

- ① 請求できる人
原則として本人に限ります。
- ② 閲覧内容
A、B、C、D及びEの5段階による開示。(不合格者の大学入試センター試験及び個別学力検査等の総計に基づく区分。)
- ③ 閲覧の受付期間及び受付時間
平成29年5月9日(火)から5月29日(月)までの午前9時から正午までと午後1時から午後5時までの間。(ただし、土、日を除く。)
- ④ 閲覧場所
和歌山市紀三井寺 811-1

和歌山県立医科大学 紀三井寺キャンパス内 学生課（図書館棟3階）

⑤ 閲覧請求方法

本学の受験票を持参のうえ、閲覧場所へお越してください。
なお、電話、郵便等による問い合わせには応じません。

X 試験場（紀三井寺キャンパス）までの交通機関

(1) JR 紀三井寺駅（紀勢本線）より
徒歩（約10分）

(2) JR 和歌山駅（JR 阪和線、和歌山線、紀勢本線）より
和歌山バス利用の場合（約30分）

①番又は②番乗り場から

医大病院行き又は海南駅前行き、マリーナシティ行き

→ 医大病院停留所下車

医大病院前停留所下車

医大病院東口停留所下車

タクシー利用の場合（約20分）

(3) 南海和歌山市駅（南海線）より

和歌山バス利用の場合（約40分）

①番又は⑧番、⑨番、⑩番乗り場から

医大病院行き又は海南藤白浜行き、海南駅前行き、マリーナシティ行き

→ 医大病院停留所下車

医大病院前停留所下車

医大病院東口停留所下車

タクシー利用の場合（約30分）

※ 公共交通機関の運行状況は必ず最新の情報を確認し、十分に余裕を持って試験場へお越してください。

※お車での来学はご遠慮願います。

紀三井寺キャンパス 案内図

